

# 長畑ひろのり



# News vol. 178

## 四條畷市の実力

今号も「都市データパック 2023」からです。対象は全国にある市と特別区（東京23区）の815で、表にはこれまで同様、本市を含む北河内7市に、参考として全国上位3市と下位3市、そして、大阪府内上位2市を載せています。



### ・千人当たり刑法犯認知件数

※2021（令和3）年の各都道府県警察調べ

順位	市区名（都道府県）	データ(件数)
1	天草市（熊本）	0.38
2	合志市（熊本）	0.48
3	水俣市（熊本）	0.51
282	河内長野市（大阪）	2.94
314	交野市（大阪）	3.09
427	枚方市（大阪）	3.62
763	寝屋川市（大阪）	5.88
791	守口市（大阪）	6.72
795	大東市（大阪）	6.76
<b>796</b>	<b>四條畷市（大阪）</b>	<b>6.78</b>
808	門真市（大阪）	8.93
813	新宿区（東京）	12.81
814	中央区（東京）	18.50
815	千代田区（東京）	27.61

警察庁の令和4年犯罪情勢によりますと、刑法犯認知件数については、平成15年以降一貫して減少してきたところ、令和4年は戦後最少となった令和3年を上回っており（前年比5.8%増加）、今後の動向について注視すべき状況にあるとのことです。

刑法犯認知件数は、所管する警察署それぞれの努力の結果とも考えられます。そうとらえれば、単純に「件数が多いまち＝犯罪が多いまち」と繋げるのは短絡的すぎるかも知れません。それでも、本市の件数は多過ぎます。

### ・千人当たり交通事故件数

※2021（令和3）年の交通事故分析センター調べ

統計対象の交通事故とは、交通事故分析センターによりますと「道路交通法に規定する道路上において、車両、路面電車及び列車の交通によって起こされた人の死亡又は負傷を伴う事故」とのことです。

順位	市区名（都道府県）	データ(件数)
1	歌志内市（北海道）	0.00
2	珠洲市（石川）	0.15
3	留萌市（北海道）	0.25
332	高槻市（大阪）	1.76
370	阪南市（大阪）	1.85
<b>488</b>	<b>四條畷市（大阪）</b>	<b>2.20</b>
498	大東市（大阪）	2.25
630	枚方市（大阪）	2.73
699	守口市（大阪）	3.27
727	門真市（大阪）	3.59
734	交野市（大阪）	3.65
735	寝屋川市（大阪）	3.70
813	前橋市（群馬）	6.37
814	浜松市（静岡）	6.75
815	千代田区（東京）	8.53

北河内7市における令和4年一年間の交通事故発生状況は下記の通りです（大阪府警察サイトより）。

先のデータ（令和3年）と比較します。令和4年

12月末日現在の本市人口は54,765人で、右表より事故数は102件です。そこから千人当たり交通事故件数に換算すると**1.86件**となり、わずか一年で先のデータで示された**2.20件**より良い結果になったことがわかりました。

枚方市	1,173件
寝屋川市	794件
守口市	370件
門真市	327件
大東市	293件
交野市	253件
<b>四條畷市</b>	<b>102件</b>

文章は、弱視の方にも読みやすい可読性に優れたユニバーサルデザインフォントを使用しています。

公式サイト（4コマ漫画も掲載中）

<http://nagahata.jp>



日々の主な活動

facebook



政治以外の話題

note



長畑ひろのり事務所 Fax 050-3173-0081

e-mail [sky@nagahata.jp](mailto:sky@nagahata.jp)

# 9月定例議会における質問②

## ・土砂災害について I

**【長畑質問】** 7月10日に福岡県久留米市では、土砂災害特別警戒区域(以下「レッドゾーン」と言う。)外の所で被害が出た。本市防災マップの信頼性は。

**【都市整備部長答弁】** 市民周知を目的に、府知事の指定を基に作成しており、指定区域以外で土砂災害等の危険性が無いことを保証するものではない。

府や国の動向を注視しながら引き続き、出前講座等の機会を通じ地道に市民への周知・啓発に努める。

**【長畑質問】** 本市にある砂防堰堤の効果は。

**【都市整備部長答弁】** 100年に一度の確率の降雨量と過去最大降雨量とを比較し、大きい方の雨量で計画し施工したものと府から聞いている。



上記「砂防堰堤」のイラストは国土交通省のサイトより引用

**【長畑質問】** 設計条件は当時と変わっていないのか。

**【都市整備部長答弁】** 100年に一度の確率の降雨量は、昭和53年度に基準を策定し、その後、平成8年度に改定を行っているが変更はされていない。また、過去最大雨量は、設計実施年度以前の過去最大雨量を採用している。

**【長畑質問】** このところの異常気象を考えると、設計条件がこれでは不安になるが。

**【都市整備部長答弁】** 昨今の異常気象に対しても、一定の効果はあるものと認識している。

**【長畑要望】** 本市防災マップのレッドやイエローに記されていない箇所が安全であると言う間違いをどう市民に周知するのか。避難時の対応を含め解決しなければならない課題は多くある。

ただこれらの内容については、本市だけで決められることではない。国の今後の方針を見さだめた上で府と相談するなどしながら、改めて山積している課題について一から見直すことを要望する。

## ・土砂災害について II

**【長畑質問】** レッドゾーン内の住宅戸数は。

**【都市整備部長答弁】** 地区単位のハザードマップの作成が求められている39箇所について把握しており、その中の住戸数としては46戸と認識している。

**【長畑質問】** レッドゾーンにおける建築制限について、最新の状況は。

**【都市整備部長答弁】** 建築物の建築等に着手する前に、建築物の構造が土砂災害を防止・軽減するための基準を満たすものとなっているか、確認の申請書

を提出し建築主事の確認を受けることが必要。

**【長畑質問】** 基準を満たすための費用も含め相当ハードルが高く、場所によっては不可能と考える。

では、レッドゾーンで住宅ローンは組めるのか。

**【都市整備部長答弁】** 市では把握できていない。

**【長畑質問】** 住宅金融支援機構のチラシでは、新築住宅を建設や購入する場合は高い金利のものしか融資を利用できない。また、賃貸住宅を建設する場合も融資が利用できないと書かれている。

では、住宅の除去及び移転に要する費用の一部を補助する件についての具体的な内容は。

**【都市整備部長答弁】** 危険住宅の除却等に要する費用については、1戸当たり97万5千円を限度とし、危険住宅に代わる住宅の建設又は購入をするために要する資金の借入金利子に相当する額の費用については、1戸当たり、建物325万円、土地96万円の合計421万円を限度として補助する制度。

**【長畑要望】** 住宅除去に97万5千円、危険住宅に代わる建設か購入は結構な金額だが、よく聞けば借入金金利子に対して

とのこと。これでは、家を捨て安全な場所へと簡単にはできない。

本市のレッドゾーン内に住まわれている方にとって、ある日突然レッドゾーンに指定され、家の建て替えも難しくなり、売るにしても土地の評価は下がっている。この突きつけられた現実、住まわれている方にとって受け入れがたいことだと思う。

そこで、これらの方々が安全な場所へ引っ越す場合、少しでも危険な地域から移ることができるよう先の補助金制度に金額が上乘せされるような補助金の創設を要望する。

### ひろのり物語 ⑱

絵:長畑ひろのり

